

## 助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人京都丹波・丹後ネットワーク

代表者・役職名 氏名 理事長 眞下 賢一

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

福知山で暮らす外国人のための「災害時研修&amp;心に寄り添う傾聴講座の開催及び防災 BBQ」

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年6月設立。会員数18名です。京都北部地域を中心に、大学や企業、地域の多様な人材と連携することにより、“未来のまちづくり”と地域福祉に貢献することを目的に活動しています。最近の主な活動としては、防災講座・まちづくり講座の開催、外国にルーツを持つ親子などの支援を実施しています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

前回、「真如苑 子どもの生活支援基金助成金」を活用して外国籍の親を持つ子どもたちへの支援を行いました。その中で、災害が起きたときの不安や誰に(どこに)支援を求めればよいのかなどの声が聞かれました。実際、福知山では毎年のように水害が発生し、その際の避難場所、支援物資、どのような支援があるのかなど情報が、言葉の壁により届かないケースが起こっています。そのような状況を、災害時研修や傾聴講座を開催し、支援体制を整えることで解決したいと考え、申請することになりました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

外国人に対する災害時の心に寄り添う傾聴講座を開催し、災害時の情報提供や不安な思い、要望を聴くなどの支援体制を作るため、傾聴講座として基礎講座2回、応用講座1回、実践講座1回実施しました。また、地域に住む外国人等に対して災害時研修を行い、その後傾聴ボランティア受講者やその他支援者などを交えて防災バーベキュー交流会を開催しました。いざというときの関係性を構築するとともに、食文化の違いなどを確認、あるいは災害に対して不安に感じていることなどを話し合い、災害時に備えることが防災バーベキュー交流会の目的です。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

傾聴講座は基礎講座2回、応用講座1回、実践講座1回実施し、参加者数は毎回約10名です。また、災害時研修及び防災BBQには外国人及び外国にルーツのある人約20名、地域の人と支援者約40名が参加してくれました。国籍はベトナム、フィリピン、ボリビア、オーストラリア、韓国。効果としては、外国人も子供も大人も一緒に防災スイーツづくりを行い、通訳に入っていただくことで、言葉の壁をあまり感じることなく交流することが出来ました。また、周辺の中小企業などから次はぜひ参加したいとの声もいただき、指導してくれた防災士からも継続への協力の申し出があり、地域に外国人が増えることへの災害時の体制づくりのきっかけとなりました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

傾聴講座については、すでに外国人の支援をしている人を中心に参加申し込みがあり、熱心に受講していただきましたが、一般市民の意識ももう少し高めていきたいと思っています。また、災害時研修や防災BBQについては、様々な国からの参加者に言語や文化、習慣などについてどのように対応していけばよいか今後の一番の課題です。今後の展望については企業や地域から外国人向けの災害時研修をぜひ実施してほしいという声が多く聞かれ、可能であれば再度この助成事業に応募し、より多くの外国人に災害の時の対応を身に付けてほしいと思っ

ています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

外国人と外国にルーツを持つ人、支援者向け

# 災害時研修 & 防災BBQ

## 参加者募集

### 5/12

防災士さんが教えてくれる

- ◆自分の地域のハザードマップを作ろう
- ◆防災グッズの揃え方・使い方を覚えよう

防災BBQ: 京都バーベキュー協会会長 森本隆さん

- ◆災害時でも美味しいBBQをつくろう!!
- ◆外国人も地域の人も子どもたちもみんなと一緒にBBQで交流しよう!!



日時: 2019年5月12日(日曜日)  
AM10:00~PM3:00

場所: 南佳屋野児童館  
(福知山市字前田33-24)

参加費: 100円

募集人数: 50名程度

申込・問合せ: NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク

Mail: [tantan@kyoto-tantan.net](mailto:tantan@kyoto-tantan.net)

☎: 0773-45-3507 (森田・ひがしか)

☆お名前(団体名)・連絡先をご連絡ください  
(支援者の方は支援国)

申込期限: 2019年5月7日午後5時まで



主催: 特定非営利活動法人

京都丹波・丹後ネットワーク

共催: 公益財団法人京都府国際センター

この事業は真如苑の助成により実施しています

活動の様子



外国にルーツを持つ人などのための災害時傾聴ボランティア講座の様子



ベトナムの技能実習生など福知山で暮らす外国人に困り事や心配事などを聴く



スマホを使いながら自宅などの危険度チェックを行ったほか、非常用トイレの使い方を学ぶ



防災士さんからロープワークを学び、誰が早く出来るか競争！！ 楽しみながら覚えることが大事



外国人も子どもたちも地域の人も一緒になってポリ袋クッキング



京都BBQ協会会長の指導で、災害時にも役に立つBBQを実施